

Ⅴ 学生支援

【入学に関する支援】

(1) 入学志願者に対し、短期大学は建学の精神・教育理念や設置学科等の教育目的・教育目標、求める学生像をどのような方法、手段で明示しているか。

毎年発行する「短期大学案内」やホームページ上に明示することで、資料請求者やホームページ閲覧者など幅広い対象者に対して情報を公開している。また、オープンキャンパスや進学説明会では参加者に対しての説明も行っている。さらに、高等学校の進路指導担当者に対しては平成 16 年度から発行している「教育方針」を活用し、高校訪問時に説明を行っている。なお、アドミッション・ポリシー（学科が求める学生像）については、「教育方針」及びホームページ上に明示している。

(2) 入学志願者に対し、入学者選抜の方針、選抜方法（推薦、一般、A0入試等）をどのような方法、手段で明示しているか。

各入学試験の概要をまとめた「入学試験要項」を作成し、資料請求者やオープンキャンパス、進学説明会への参加者に対して説明し配布している。また、入学試験の内容をわかりやすく解説した「入試ガイド」を作成し、「入学試験要項」と同様に配布している。さらに、ホームページ上にも入学試験情報を掲載している。

(3) 広報及び入試事務についての体制（組織等）の概要。また入学志願者、受験生等からの問い合わせにはどのような体制で応じているか。

学生募集に対する広報と入試事務は学生センター内の入学課が担当している。入学課が担当する主な業務は以下のとおりである。

- ① 入学願書の受付事務に関すること
- ② 入学試験の運営に関すること。
- ③ 入学許可事務に関すること。
- ④ 入試に関する調査・統計及び資料収集に関すること。
- ⑤ 学生募集の広報に関すること。
- ⑥ 学生募集の事務に関すること。
- ⑦ その他入試及び広報・学生募集に関すること。

受験生からの問い合わせについては、平日は 9 時から 17 時、土曜日は 9 時から 16 時 30 分の時間帯に即時対応できる体制になっている。

受験生からの問い合わせ方法は電話やメールが多く、メールでの問い合わせについては、1 日に複数回メール受信の確認を行い、問い合わせに対してはできるかぎり即日対応している。また、必要時には他部署との連携を図りながら対応している。

(4) 願書受付から合否通知にいたる入学試験の流れについての選抜方法ごとの概要。また多様な選抜を公正かつ正確に実施しているかどうか、入試事務の責任者は現状をどのように受け止めているか。

平成 23 年度入試の概要は、以下のとおりである。

① AO 入試（前期・後期）

学力のみを評価する入試とは異なり、各学科のアドミッションポリシーを深く理解し、入学を熱望している者を対象とし、本学との相互理解のもと、潜在的な資質や意欲、個性等を総合的に評価する。

<入学試験の流れ>

本学の AO 入試の流れは、相談→出願→選考(面接)→合否通知→入学手続となっている。まず、オープンキャンパス時に実施する AO 相談を必ず 1 回受けることが必須条件になっている。相談終了後に出願に必要な「エントリーシート」と「AO 入学試験要項」を受け取る。

<選考方法>

面接 100 点満点、書類審査（エントリーシート、調査書等）50 点満点 計 150 点満点で選考

② 指定校推薦入試

本学が指定する高等学校長の推薦に基づき、面接と書類審査により選考する。

<選考方法>

面接 80 点満点、書類審査（調査書の全体の評定平均値×4）20 点満点 計 100 点満点で選考

③ ファミリー入試

学園全体の卒業生や在学生の親族（3 親等以内）を対象とし、面接および書類審査の総合評価により選考する。

<選考方法>

面接 80 点満点、書類審査（調査書の全体の評定平均値×4）20 点満点 計 100 点満点で選考

④ 地域密着型入試

地域の高等学校を卒業見込みの者や、地域に居住し、高等学校を卒業見込みの者を対象とし、面接と小論文、書類審査で総合的に評価する。

<選考方法>

面接 80 点満点、小論文 50 点満点、書類審査（調査書の全体の評定平均値×4）20 点満点 計 150 点満点で選考

⑤ プレゼンテーション入試

これまでに関心を持ち、力を入れてきたことの発表や、ピアノ演奏を行い、受験生の意欲や適性などを評価する。

<選考方法>

プレゼンテーション審査 50 点満点、書類審査（調査書の全体の評定平均値×4）20 点満点、自己推薦書 30 点満点 計 100 点満点で選考

⑥ 経済支援型特別入試

経済的支援を必要とする者を対象に、高等学校若しくは中等教育学校の調査書における全体の評定平均値が 4.3 以上の者を対象に、面接と小論文、書類審査で総合的に評価する。

<選考方法>

面接 80 点満点、小論文 50 点満点、書類審査（調査書の全体の評定平均値×4）20 点満点 計 150 点満点で選考

⑦ 吹奏楽推薦入試

高等学校で吹奏楽部に所属し、入学後も本学の吹奏楽部で活動する意思のある者を対象とし、面接と書類審査で総合的に評価する。

<選考方法>

面接 50 点、書類審査（活動実績証明書、自己推薦書、調査書の総合評価）50 点 計 100 点満点で選考

⑧ 公募推薦 A 日程、公募推薦 B 日程

出身学校長の推薦に基づき、基礎学力検査や調査書などの総合評価により選考する。

<選考方法>

基礎学力検査 80 点満点、書類審査（調査書の全体の評定平均値×4）20 点満点 計 100 点満点で選考

⑨ 一般入試 A 日程、一般入試 B 日程、一般入試 C 日程

<選考方法>

学力試験 100 点満点で選考

⑩ 社会人特別入試（前期・後期）

学ぶ意欲の高い社会人に大学の門戸を開放するもので、学力試験は課さずに、小論文と面接により評価する。

<選考方法>

小論文 50 点満点、面接 50 点満点、計 100 点満点で選考

⑪ 兵庫大学コース（須磨ノ浦女子高等学校生対象）

兵庫大学コースとは、系列校の須磨ノ浦女子高等学校生を対象にした高大連携事業である。

3 年間の教育プログラム（高校 1 年生は、セミナーを 1 年間に加古川キャンパス（兵庫大学短期大学部）で 1 回、須磨キャンパス（須磨ノ浦女子高等学校）で 2 回の合計 3 回実施。2 年生は、特別授業を 1 年間に須磨キャンパスで 4 回、加古川キャンパスで 4 回の合計 8 日間実施。3 年生は、加古川キャンパスで 1 年間に毎週火曜日に 4 時限の授業聴講を行う。）を実施する。全てのプログラムの終了後に、まず科目担当者が評価し、その後学部長、学科長等が面接をし、評価を高校に提出する。そして、最終高等学校長が評価の基準を満たしていると認めた生徒が、本学への入学が無試験で認められるものである。

⑫専攻科入学試験

＜選考方法＞

小論文 100 点満点、面接 100 点満点、計 200 点満点で選考

各入学試験の選抜方法は以上のとおりである。願書受付から合否通知までの業務については必ず複数でチェックを行う体制で、厳格に作業を実施している。また、全ての入学試験前には、担当者全員を対象に実施説明会を開催し、入学試験業務の周知徹底を図ることによって公正に実施している。

多様な入学試験の選抜については、選考方法や配点は入学試験要項に記載している。

面接試験においては、面接は複数の教員によって実施している。実施にあたっては、「面接の手引き」「面接票」等に基づき事前に打ち合わせを行い、公平に面接を実施し、採点を行っている。小論文試験については、複数の教員で採点を行っている。

全ての入学試験の選抜については、入試委員会（委員長＝短期大学部長）において合否判定を行なっている。その結果は短期大学部教授会に報告する形式をとっている。

このように、入学試験の選抜については、公平・公正に実施している。

(5) 合格者もしくは入学手続き者に対し、入学までの間、授業や学生生活についてどのような方法、手段で情報の提供を行っているか。

入学手続き者からの入学前の質問等については学生センター入学課が窓口となり、必要に応じて関係部署との連携を図りながら対応している。

推薦入試等で合格し、入学手続きを完了した者には、高校生活から大学生活にスムーズに移行できるように、また各専門分野のエッセンスを事前に学ぶために、入学前教育として各学科独自で考えられた「フォローアッププログラム」を企画し、全員に対して実施している。また、入学式や新入生ガイダンス、健康診断、そして初年次教育の位置づけでもある入学生対象の宿泊または学外研修企画「フレッシュマンキャンプ」の内容及び開催日、授業開始日など、入学直後に必要な情報を文書で通知している。

(6) 入学後（入学直前を含む）、入学者に対して行っている学業や学生生活のためのオリエンテーション等の概要について。

新入生に伝えるべき内容である建学の精神、教育理念、学科の教育方針の理解を最優先とし、入学した学生一人ひとりが有意義な学生生活を送れるように、入学時に「学生便覧（キャンパスガイド）」などを配布し、入学式終了後のオリエンテーション期間（4日間）でガイダンスなどを実施し、新入生に必要とされる内容を重点的に、パワーポイントなどを使用しながら事細かに説明をしている。このガイダンスには、「学生課（学生生活関連）ガイダンス」・「教務課（履修関連）ガイダンス」・「キャリア課（就職関連）ガイダンス」・「宗教ガイダンス」・「健康管理センター（健康相談等の説明）ガイダンス」などがあり、新生活に必要な情報及び新入生がトラブルに巻き込まれないような情報を、一度に理解しやすいようにコンパクトにして伝達している。またそれ以外にも図書館の使用方法を教える「図書館ツアー」や、人権教育推進委員会が主催する「人権講演会」、オリエ

ンテーション期間の後半に実施するフレッシュマンキャンプの開催内容を説明する「フレッシュマンキャンプ説明会」など、新入生の負担にならないように配慮しながら実施している。

そしてオリエンテーション期間の後半に企画しているフレッシュマンキャンプは、その後の学生生活に円滑に移行できるように、各学科が企画する学外の宿泊研修（1泊2日間）であり、全員を参加対象としている。このフレッシュマンキャンプは、在学生スタッフと教員とが協働して運営している。

【学習支援】

(1) 入学時もしくは学期ごとに行っている学習や科目選択のためのガイダンス等の概要について。

新入生については、オリエンテーション期間に「履修登録説明会」を開催し、クラス担任等が教育方針、資格取得の心得、履修登録の方法等を説明するとともに、具体的な履修指導を行っている。

在学生については、Ⅰ期及びⅡ期の始めのオリエンテーション期間に日時を設定して「履修登録説明会」を開催し、履修選択における注意等を説明している。

なお、履修登録に関する学生からの質問等については、クラス担任のほか、教務課員が通年対応し学生の学習支援体制を整えている。

(2) 学習や科目選択のためにどのような印刷物（学生便覧等を除く）を作成し配布しているか。

学生便覧の他、学年の始めには「授業計画（シラバス）」を配付している。

なお、「授業計画（シラバス）」記載内容については、学内 Web において、いつでも参照することができる。

その他、各学期の始めに「授業時間割」「履修登録科目計画表」「卒業要件・資格取得確認表」「テキスト一覧」を配付している。

(3) 基礎学力不足の学生に対し補習授業等の取組みを行っているか。またその概要について。

多様な学習履歴を有する入学生に対応するため、1年Ⅰ期の配当科目である「日本語（読解と表現）」「英語」については、入学時のオリエンテーション時に全学生を対象に「プレイメントテスト」を実施し、その結果をもとに能力別クラス分けを実施している。また、学期末には「同科目」を履修登録した学生に対し「アチーブメントテスト」を実施し学生の授業理解伸長度を測っている。

(4) 学生の学習上の問題、悩み等に対し指導助言のための取組みを行っているか。

「クラス担任制度」を設けていることにより、学生個々の学習上の問題や学生生活上の悩み等に対してはクラス担任が中心となって個別相談を行い、指導助言を行っている。

また、成績不良者、長期欠席者等については、学科会議において情報を共有し、クラス担任と学科長とが協力して個別に対応を行っている。

さらに、希望する学生は、健康管理センターにおいて、センター職員への相談や、週 3 回専門のカウンセラーによるカウンセリングを受けることができる。

(5) 進度の早い学生や優秀学生に対して、どのような学習上の配慮や学習支援を行っているか。

「器楽 A」や「器楽 B」、「コンピュータ演習」などの授業科目では、進度の速い学生に対して担当教員の判断によって適宜学習上の配慮を行っている。

なお、優秀学生に対しては、各学科の各学年において単年度の成績や成果に基づき優秀学生を選出する「優秀学生表彰制度」を導入し、一層の学習を奨励している。

【学生生活支援体制】

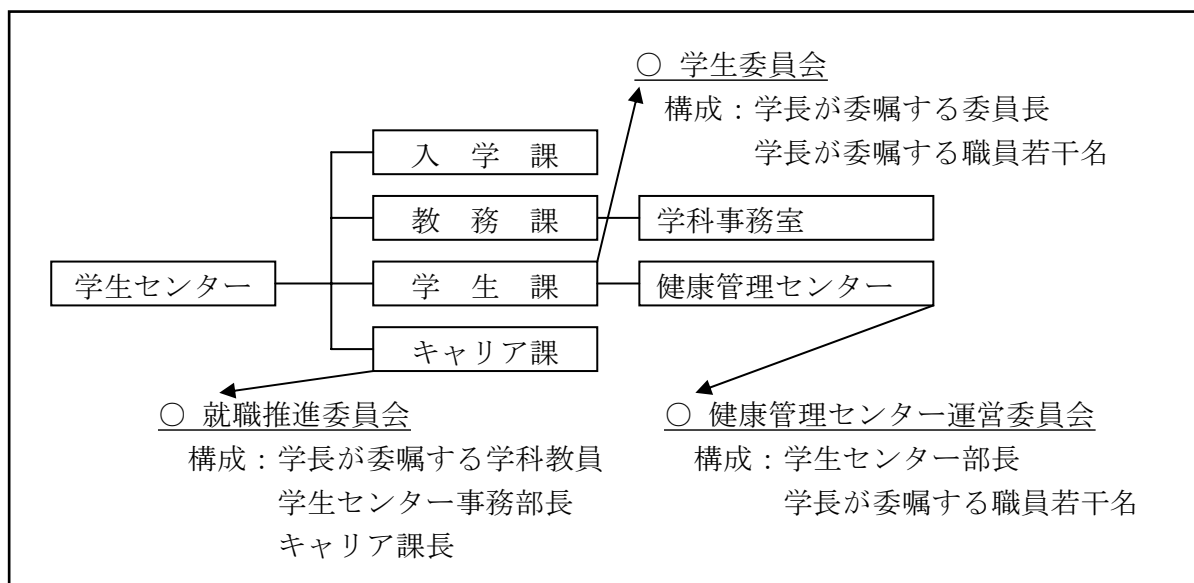
(1) 学生生活を支援するための組織や体制（教員組織、事務組織のいずれも）が整備されているか。

学生生活を支援するための組織として、学生センターを設け、その中に入学課、教務課、学生課、キャリア課の 4 課を置き、入学から卒業まで、4 課相互の協調体制を基に学生支援を行っている。

また、健康管理センターや学科事務室とも連携を図ることにより、より効果的な学生支援が行えるように体制を整えている。（「学生支援組織図」参照）

その他、学生生活を支援するための体制として、「学生委員会」〔大学との合同委員会〕（構成員：委員長 1 人、委員 9 人）を設置し、①学生生活に関すること、②正課外教育に関すること、③学内団体（クラブ活動）に関すること、④奨学生の選考に関すること、⑤その他学生支援に関することについて、毎月 1 回定例で開催し議論している。さらに、就職及び進学全般に関する事項を審議する「就職推進委員会」〔大学との合同委員会〕（構成員：委員長 1 人、委員 9 人）を設置し、学生の就職及び進学支援に関する事項についての審議及び報告を毎月 1 回定例で開催している。

学生支援組織図



(2) クラブ活動の現状、学友会の現状、学園行事（学園祭、短大祭等）の実施の状況と指導体制及び学生の活動状況について。

① クラブ活動の現状について

本学では短期大学部生と大学生が一緒になり、同一キャンパス内で活動を行っている。平成22年度の学内団体数は42団体（体育会25団体、文化会17団体）であり、短期大学部生は114名が参加している（短期大学部加入率23.3%、キャンパス全体36.0%）。

短期大学部生のクラブ活動活性化のため、毎年7月に開催される全神戸短期大学総合体育大会には、学内団体を中心に、バレーボール・バスケットボール・テニス・ソフトテニス・卓球・バドミントンの6種目（それぞれに男子の部、女子の部あり）の全種目において積極的に出場し、好成績を収めている。

また、課外活動の活性化を目的に、学内団体に対する活動を支援するにあたり、学生会及び後援団体（保護者会）が課外活動助成を行っている。

<クラブ年間スケジュール>

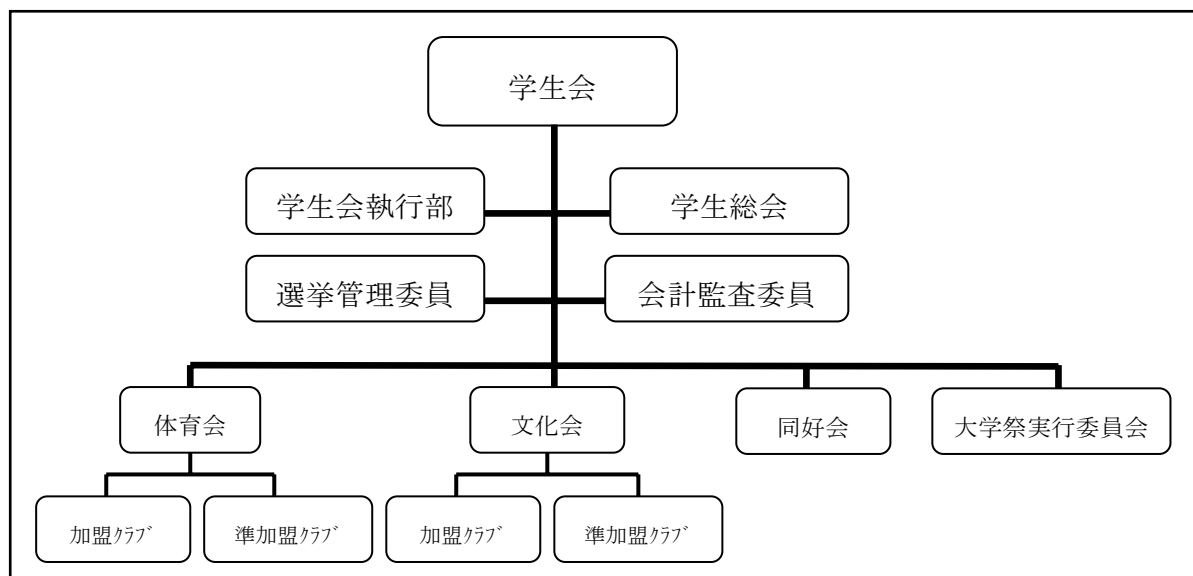
月	内 容
4月	クラブ勧誘会・体験入部、施設振り分け
5月	新入生歓迎会、学生定期総会、施設振り分け
6月	クラブ活動助成金振込み、施設振り分け
7月	7月イベント（学生会主催）、施設振り分け
8月	
9月	施設振り分け
10月	施設振り分け
11月	施設振り分け
12月	クラブ紹介パンフレット「JOIN A CLUB」作成説明会・原稿提出依頼、学生会役員選挙、クラブ実態調査、施設振り分け
1月	クラブ継続・会計・プレゼン説明会、施設振り分け
2月	体育会・文化会加盟継続・準加盟継続申請・加盟申請及びプレゼン、施設振り分け
3月	新入生勧誘会説明会、決算報告、予算申請、予算折衝、施設振り分け

② 学生会の現状について

学生自治の精神に基づき、兵庫大学短期大学部及び兵庫大学の学生の自主的な活動組織として「学生会」がある。学生生活の向上発展及び学内の親睦をはかり、学生としての使命を果たすとともに、自由で民主的な学園の創造発展に寄与することを目的として活動し、併せて社会文化の興隆への寄与、ならびに地域社会の活動に積極的に協力している。その組織内には、学生総会、学生会執行部、体育会、文化会、同好会、大学祭実行委員会、会計監査委員会、選挙管理委員会、特別委員会を置いている（「学生会組織図」）参照。

学生課と学生会執行部は、学内団体と連携を図りながら、学生の課外活動の活性化に向けて取り組んでいる。また、毎年2月には、学内団体構成員の時期幹部候補生を対象とした、学生が主体的に運営する「リーダースミーティング」を開催し、学内だけに限らず、広く社会でも活躍できるリーダーの育成を目指している。

学生会組織図



③ 大学祭の現状について

大学祭は、兵庫大学短期大学部の学生と兵庫大学の学生が合同で、自主的に「大学祭実行委員会」を組織し、企画の立案から運営まで独自に行っている。

大学祭は、毎年 11 月中旬の 2 日間にわたり実施し、学生グループや課外活動のクラブ学生らが模擬店、フリーマーケット、展示、各種イベントなどを企画し、教育活動のひとつとして、学生と教職員が一体となり、大学祭実行委員会を中心にキャンパスの活性化を推進している。また、この大学祭には、例年 2 日間を通して近隣の方々を中心に約 8,000 人の来場者がキャンパスを訪れ、地域と大学との交流を一層深めている。

大学側の大学祭支援体制として、大学祭開催までは学生課職員が終日大学祭実行委員会の活動の支援を行い、大学祭当日には、教職員の大学祭支援本部を設置し、大学祭実行委員会が行う大学祭の運営を側面から支援している。

(3) 学生の休息のための施設・空間、保健室、食堂、売店の設置の概要について。

① 学生の休息のための施設・空間について

本学では下表の場所を学生の休息のための施設・空間として設けている。

場所	設備等
1号館東2階	机、椅子、自動販売機
2号館東側スペース	机、椅子、ソファ、無線 LAN
2号館3号館を結ぶコリドール	机、椅子、長椅子
3号館1階サロン	机、椅子、長椅子、AVシステム、無線 LAN
4号館1階2階	机、椅子、長椅子 (1階のみ)
5号館1階2階 (学生食堂)	学生食堂、机、椅子、購買部 (1階のみ)、売店 (2階のみ)、自動販売機
5号館南側スペース	机、椅子、長椅子
5号館図書館、閲覧室	机、椅子、長椅子、無線 LAN
10号館ピロティ	長椅子
12号館2階 (喫食スペース)	机、椅子、電子レンジ
17号館1階ロビー	机、椅子、無線 LAN

中庭及び噴水付近	机、椅子、長椅子
テニスコート南側	机、椅子

② 保健室について

17号館1階に健康管理センターを設置し、学生生活を有意義に送るために、健康について自主的に考え、行動できるようなサポートをしている。

また、健康管理センター内に学生相談室を設け、充実した学生生活を送るために必要な情報を提供するなど、悩みや問題などを解決するために、臨床心理士の資格をもった専属のカウンセラーが定期的に待機し、いつでも悩み（相談）に応じられるようにしている。

③ 食堂・売店の設置について

5号館1階には272席、2階には250席、合わせて522席ある学生食堂を設置している。なお、学生食堂の運営は外部業者に委託している。

学生食堂の2階には売店を設置し、焼たてパンの提供を始め、軽食や飲料の販売、そして日用品も取り扱っている。そして、学生食堂の1階に併設する購買部では、教科書、実用書、雑誌、文房具、菓子等の販売も行っている。

(4) 短期大学が設置する学生寮の状況、下宿・アパート等の宿舎の斡旋の体制、通学のための便宜（通学バスの運行、駐輪場・駐車場の設置等）の概要について。

① 学生寮について

キャンパス内に女子学生専用の学生寮（全室個室）を設置している。

学生寮は和幸寮2棟、清和寮1棟を設置しているが、現在は和幸寮の1棟（個人部屋80室）を使用し、寮生は54人（短期大学部生22人、兵庫大学生42人）が在寮している。

学生寮では、寮生活の規律を維持し、寮生間の親睦をはかることを目的とした「寮生会」を組織することにより自主自立的な運営を図るとともに、2人の寮管理人（住み込み）と学生課が協力して寮生の生活についてあらゆる面から支援を行っている。

<施設・設備>

名称	和幸寮
構造	鉄筋コンクリート
規模	和幸寮 4階建て
部屋数	寮室 80室（全室個室、冷暖房完備） 食堂 1室（食堂棟1階、テレビ・ピアノ・冷暖房完備） 浴室 1室（シャワールーム4室付、冷暖房完備） フレンドリールーム 3室（食堂棟2階、テレビ・冷暖房完備） 自習室 6室（食堂棟2階、冷暖房完備） ピアノ室 1室（食堂棟2階、冷暖房完備） 職員宿泊室 1室（和幸寮1階） 洗濯室 2室（各寮1階） 事務室 1室（和幸寮1階）
その他設備等	寮管理人室：開寮期間において24時間寮生の寮生活を支援するべく、寮長・寮母を常駐させ、緊急時などに対応 守衛室：午後8時～午前6時までガードマンが待機・巡回 赤外線センサー：午後9時～午前6時の間、安全の為学生寮周辺において作動 アイロン室、物干し場、キッチン（食堂棟1階）、ミニキッチン（和幸寮各階）、自動販売機（食堂棟1階、浴室）完備

＜学生寮 行事＞

- 4月 入寮説明会、入寮式、新入生歓迎会
- 5月 避難訓練
- 7月 七夕会（花火大会）
- 8月 夏季休暇による一時閉寮
- 10月 寮生会役員選挙
- 12月 成道会
- 1月 冬季休暇による一時閉寮、送別会
- 2月 部屋移動、入寮手続き開始

※この他にも寮生会が企画する各種イベント（おやつデーなど）がある。

＜寮費＞

- 入寮費 80,000 円（入寮時のみ）
- 寮費 I期 155,000 円、II期 155,000 円
- 寮生会費 5,000 円（入寮時のみ）

② 下宿・アパート等の宿舎の斡旋状況について

本学近辺の不動産会社と連携をとり、下宿・アパート等の宿舎紹介パンフレットを学生課に備え、新入生及び学生への情報提供を行っている。

なお、連携する不動産会社の対応等に問題があった場合の相談窓口を学生課に置き、学生が安心して下宿先を決定できるようにしている。

③ 通学のための便宜（通学バスの運行、駐車場、駐車場の設置等）について

本学は、JR の駅から徒歩圏内に所在するため、通学バスは運行していない。

グラウンド東側に、広さ 843 m²、収容台数 689 台のバイク・自転車駐輪場を設置している。

駐車場については、学生専用駐車場（60 台：月額 2,000 円）を学内と学外に設けている。学生の自動車通学及び駐車場利用については、自宅から大学まで公共の交通機関を利用して、通学に 90 分以上要するか、または自宅から大学まで片道 100km 以上あり、交通が不便であることを条件として自動車通学を認めている。

(5) 平成22年度の日本学生支援機構等の外部奨学金の取得状況と短期大学独自の奨学金等の概要について。

① 外部奨学金の取得状況

経済的理由により修学が困難な者に一定の金額を貸与または給付することによって、学費・生活費の負担を軽減し、少しでも学業を継続しやすい環境をつくるために、学生それぞれのニーズにあった外部奨学金を取り扱っている。平成 22 年度においては、延べ 222 人の学生（下表参照）が奨学生として採用された実績がある。

外部奨学金の取得状況（平成 22 年度）

名 称	種別	受給者数(人)	受給額総額(円)
日本学生支援機構奨学金	第一種	45	28,848,000
	第二種	176	148,370,000
本願寺派教学助成財団奨学金	給付	1	80,000
合 計		222	177,298,000

② 学内奨学金制度

本学に在学する優秀な学生で、経済的理由による就学困難な者に対し学資を給付し、短大生活の向上をはかり、あわせて社会に有用な人材を育成することを目的とした奨学金制度を設けている。このことにより、学生への経済的支援だけでなく、学びへの意欲につながっている。また、学業中途において家庭の経済的事情の急変・天災・地変などによって就学困難に陥った者を援助するための制度としてむつみ奨学金 B を導入し、学生への経済的支援の強化を図っている。平成 22 年度は、7 人の学生（下表参照）が本学独自の奨学金の奨学生として選ばれた。

学内奨学金制度の状況（平成 22 年度）

名 称	種別	受給者数(人)	受給額総額(円)
むつみ奨学金 A	給付	5	1,500,000
兵庫大学・兵庫大学短期大学部給付奨学金	給付	2	600,000
合 計		7	2,100,000

③ 援助制度の概要

学生への経済的支援を目的とした援助制度として、さまざまなものを導入している。特に、勉強だけでなく、課外活動・社会活動で功績のある者に対して表彰する制度「優秀学生表彰制度」は、学生の課外活動等の活性化に大きく寄与している。なお、平成 22 年度においては、優秀学生表彰制度で 5 人の学生が選ばれ、副賞として 10 万円の奨学金が給付された。

また学費等金銭トラブルに対しては、緊急時でも対応できるように、援助制度として「学生貸出金制度」を導入している。さらに学費の緊急時に対しては、「学費サポートプラン」を導入している。これらの制度やプランは、多くの学生及び保証人によって利用されている。

名 称	種別	金額	対象者
優秀学生表彰制度	給付	10 万円	対象者：成績優秀者および課外活動・社会活動に対し功績のある者(表彰者については各学科で選考・決定する)
学生貸出金制度	貸与	緊急：3 万円 (1 週間以内に返済) 当座：10 万円 (3 ヶ月以内に返済)	対象者：予測のできなかった災害・事故・盗難などにより、経済的支援が必要となった者や、学内の教育活動あるいは課外活動のために緊急に資金が必要となった者
学費サポートプラン (奨学ローン制度)	貸与	500 万円以内	対象者：本学学生の親権者 ※学費分割返済も可能(金利 5.5%)

(6) 学生の健康管理、メンタルケアやカウンセリングの体制の概要について。

17号館1階に「健康管理センター」を設置し、ケガや体調不良による応急処置、健康相談、定期健康診断の実施及び事後指導、健康診断証明書の発行、医療機関の紹介、学生相談の受付、学生教育研究災害保険等の手続き等の学生支援を行っている。

学生の健康相談に関しては、健康管理センターに臨床心理士の常勤の専任教員が1人、そして非常勤の教員が1人と、医師免許を持つ担当教員（交代）が2人、保健師の資格を持った常勤の専任職員が1人、養護教諭の資格を持った常勤の専任職員及び非常勤の職員が1人ずつ、合計7人が待機し、必要に応じて相談に応じている。また、傷害や疾病に対しては、専任職員を中心に適宜応急処置等を行っている。

毎年4月には、学生定期健康診断を実施しており、異常所見のあった学生に対しては、再検査を指示し、保健指導などの事後措置を実施している。

心的支援・生活相談等については、上記の専任職員が窓口となりながら、相談の受付を行い、より専門的なカウンセリングが必要と判断された学生に対しては、個別に学内の心理カウンセラー（臨床心理士）の紹介をし、必要に応じて心理相談を実施している。また、相談のあった学生の担任教員と連携し、守秘義務に配慮しながら相談学生が学修しやすい環境を整えている。

もちろん、発覚後のケア（相談）だけでなく、未然に防ぐためにも、各種対策として、委員会等を設置している。たとえば、学内における性的いやがらせやなどのハラスメント関係においては、それらの行為を無くすために、ハラスメント防止対策委員会を置き、学生らに対して相談窓口の紹介や、各ハラスメント防止対策についてのガイドラインの説明を実施している。

(7) 学生支援のために学生個々の情報等を記録していれば、それらはどのように保管・保護されているか。

本学では、入学時から卒業まで一貫した学生支援をおこなうため、学生個々の様々な情報が記録された「学修支援シート」を作成している。この「学修支援シート」は学内にあるパソコン上で閲覧することが可能であり、必要とする教職員に対してID・パスワードを「個人情報の保護に関する規程」等に基づき配布し、かつ認証キーを設定し、誰でもがどこでも見るということは出来ないようにし、個人情報の保護に努めている。

なお、「学修支援シート」を作成するにあたり、学生が入学時に提出した「個人調書」は、学科・年度別にファイリングを行い学生課ロッカーに施錠し保管している。

また、学生の進路関係の記録表である「進路登録カード」については、キャリア課ロッカーに施錠し保管しており、クラス担任及び就職推進委員のみがキャリア課において閲覧できるようにしている。

さらに、健康管理情報として、学生が毎年の健康診断時に提出する「健康調査票」は、学科ごとに健康管理センター内で保管し、健康管理センター担当者が学生の健康相談時等に活用している。

【進路支援】

(1) 過去3ヶ年（平成20年度～22年度）の就職状況について。

平成 20 年度～22 年度 各学科の進路状況表

〔保育科第一部〕

（平成 23 年 3 月 31 日現在）

区 分	20 年度	21 年度	22 年度
a 卒業者数	147 人	151 人	135 人
b 就職希望者数	b / a		
c うち学校で斡旋した就職者数	c / b		
d うち自己開拓分の就職者数	d / b		
e 就職未定者	e / b		
f 進学・留学希望者数	f / a		
g その他	g / a		

〔保育科第三部〕

（平成 23 年 3 月 31 日現在）

区 分	20 年度	21 年度	22 年度
a 卒業者数	80 人	88 人	73 人
b 就職希望者数	b / a		
c うち学校で斡旋した就職者数	c / b		
d うち自己開拓分の就職者数	d / b		
e 就職未定者	e / b		
f 進学・留学希望者数	f / a		
g その他	g / a		

〔美術デザイン学科第一部〕

（平成 23 年 3 月 31 日現在）

区 分	20 年度	21 年度	22 年度
a 卒業者数	20 人	9 人	11 人
b 就職希望者数	b / a		
c うち学校で斡旋した就職者数	c / b		
d うち自己開拓分の就職者数	d / b		
e 就職未定者	e / b		
f 進学・留学希望者数	f / a		
g その他	g / a		

〔専攻科保育専攻〕

（平成 23 年 3 月 31 日現在）

区 分	20 年度	21 年度	22 年度
a 卒業者数	3 人	1 人	1 人
b 就職希望者数	b / a		
c うち学校で斡旋した就職者数	c / b		
d うち自己開拓分の就職者数	d / b		
e 就職未定者	e / b		

f 進学・留学希望者数	f/a	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)
g その他	g/a	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)

(2) 学生の就職を支援する組織や体制（教員組織、事務組織のいずれも）が整備されているか。

学生を支援する組織として、「学生センター」を設けており、学生の就職支援は学生センター内のキャリア課を中心に行っている。キャリア課がある4号館学生センターには教務課、学生課もワンフロアで配置していることにより、入学から卒業に至るまで、学生情報の共有や各課との連携が図られている。

また、教員組織と事務組織の連携体制として、就職推進委員会を設置し、学長が委嘱する各学科教員1名の就職委員と学生センター事務部長、キャリア課長で構成し、学生の就職および進学やキャリア支援に関する事項について協議している。就職推進委員である教員とキャリア課職員が常に連携し、情報の共有、学生の指導をおこなっている。

キャリア課では学生一人ひとりにあったきめ細かな進路支援を進めるため、保育科生については、毎年、卒業年次の7月頃に学生全員と個人面談を行い、学生の顔と名前を覚えるとともに、それぞれの進路希望を把握した上での支援を行っている。

保育科生は、公立と私立の保育所・幼稚園・施設などへの就職が多いことから、幼稚園教諭や保育士など専門職への就職に向けたガイダンスを開催している。また、企業希望の学生については、企業就職希望者向けのガイダンスや学内企業説明会などを開催し、短期大学部生の企業就職にも力を入れて支援している。その他、キャリア形成支援プログラムとして、卒業生による講演会や内定学生による就職体験談、マナー講座などを実施し、学生への支援を行っている。

(3) 就職支援室、就職資料室等の現状はどうか。また、学生にどのように就職情報等を提供しているか。

キャリア課では専任職員5人が学生の進路指導・相談、求人先の開拓、就職斡旋、就職ガイダンスや就職関連セミナーの実施、資格取得支援など、学生の進路・就職を全面的に支援している。また、学生センター内に面談室、就職資料室を設置している。就職資料室には、業種別にファイリングされた求人票、就職活動に関する参考図書、各事業所別ファイルを整備している。パソコンも4台設置しており、進路関連情報の検索や就職に関わる情報を収集できる環境を整えている。平成20年7月には、就職資料室内外に掲示板を設置し、就職活動に関する情報（求人情報や各種ガイダンスの情報等）を掲示し、学生の就職意欲を高めている。

キャリア課では、進路相談はもちろんのこと、履歴書やエントリーシートの添削を随時行っており、模擬面接もするなど学生への支援を行っている。年間を通じて実施する様々なガイダンス情報等は、掲示板やメールによる配信、あるいは各学科の就職推進委員を通じて学生に提供している。また、学生が就職活動を行うにあたり重要な情報は、学生本人及び保護者宛てに自宅へハガキを送付している。その他、平成20年8月からは、学生への情報発信のツールとして、「就活新聞」を定期的に発行し、学生及び保護者に対し、就職支援の内容や就職活動に関する情報を発信し、学生の就職意識の向上に、努めている。

学生のインターンシップについては、夏休みを利用して、幼稚園や保育所などへ自主的実習（インターンシップ）をするよう指導しているとともに、兵庫県経営者協会主催のインターンシップ情報なども提供している。

平成 22（2010）年度からは、学生の就職環境の厳しさを鑑み、就職相談員（キャリアカウンセラー）を置くとともに、所管ハローワークの大卒ジョブサポーターと連携し、主に未内定学生を対象とした求人紹介や就職相談を定期的に学内で行っている。

(4) 過去3ヶ年（平成20年度～22年度）の就職状況について、就職率及び就職先を学長等、学科長等はどのように受け止めているか。

保育科第一部・保育科第三部においては、55年余りの伝統があり、保育園（所）や幼稚園などへの保育士職などの専門職に就職する割合が非常に高い。平成 22 年度（2011 年 3 月）卒業生の約 95.8%が幼稚園や保育所、施設など学んだことを活かせる就職先に就いている。過去 3 年間の就職状況（率）を見ると、保育科第一部及び保育科第三部ともに就職率は 90%以上で推移し、全国平均を上回っている。また、兵庫県内への就職が約 90%を占めている。このような状況から保育者養成校としての役割を十分に果たしていると考えている。今後も質の高い保育者の育成を目指し、2年間あるいは3年間の短い期間の中ではあるが、学生の職業観の涵養を図るとともに、就職意識の向上に向けて指導を行い、早期離職を防いでいくことが重要であると考えている。

美術デザイン学科第一部・美術デザイン学科第三部においては、平成 18 年度の就職率が全体で 64.3%と低い就職率となった。このことを踏まえ、平成 19 年度には教員とキャリア課職員が連携して、学生の個別面談を随時行い、学生の適性にあった就職支援を行った結果、平成 19 年度の就職率は全体で 89.5%にまで上った。さらに、平成 20 年度については、学生の個別面談の回数を増やし、一人ひとりにあったきめ細やかな支援を行った結果、平成 20 年度の就職率は全体で 100%という結果になった。

(5) 過去3ヶ年（平成20年度～22年度）の進学（四年制大学、専門学校等）及び海外留学の実績について、その支援はどのような方法、体制で行ったか。

本学の進学状況については「平成20年度～22年度卒業生の進学状況表」の通りである。

キャリア課では、進路調査を行った際、進学を希望する学生の面談を行っている。本学専攻科へ進学する場合は、学生センター入学課と連携し学生の相談に応じている。また、指定校等編入学の受け入れ大学の情報を取りまとめ、随時掲示を行い、学生に情報提供を行っている。

編入学指定校推薦入試を受験する場合は、学科長、学生センター部長、キャリア課長の3人で面談し、指導にあたっている。編入学試験の科目については、担任教員や教科担当教員が相談に応じている。

海外留学については、平成20年度保育科第三部卒業生で1名、平成22年度保育科第一部卒業生で1名の実績があるが、ほとんど希望者がいないのが現状である。海外留学を希望する学生については、学生センター内に設置している海外留学の案内パンフレットの提供を行い、相談に応じている。

卒業生の進学状況（平成20～22年度）

〔保育科第一部・保育科第三部〕

（単位 人）

区 分	保育科第一部			保育科第三部		
	20年度	21年度	22年度	20年度	21年度	22年度
進学者数	2	2	2	2	1	0
4年制大学編入学	0	1	1	0	1	0
専門学校	1	1	0	1	0	0
本学専攻科	1	0	0	0	0	0
その他大学（専攻科）	0	0	0	0	0	0
留学	0	0	1	1	0	0

〔美術デザイン学科第一部・美術デザイン学科第三部〕

（単位 人）

区 分	美術デザイン学科第一部			美術デザイン学科第三部		
	20年度	21年度	22年度	20年度	21年度	22年度
進学者数	3	2	1	0	0	/
4年制大学編入学	1	1	1	0	0	
専門学校	2	0	0	0	0	
本学専攻科	0	0	0	0	0	
その他大学（専攻科）	0	1	0	0	0	
留学	0	0	0	0	0	

〔専攻科保育専攻・専攻科美術デザイン専攻〕

専攻科美術デザイン専攻及び専攻科保育専攻の卒業生については、平成20年度から平成22年度にかけて、いずれも進学者はいなかった。

【多様な学生に対する支援】

(1) 過去3ヶ年（平成20年度～22年度）の留学生・社会人・帰国子女・障害者・長期履修学生・科目等履修生の受け入れ状況はどうか。また、その学習支援、生活支援はそれぞれのどのような方法、体制で行っているか。

多様な学生の受け入れ状況（平成20年度～22年度）

種別	20年度	21年度	22年度	計
留学生(人)	0	0	0	0
社会人(人)	6	10	3	19
帰国子女(人)	0	0	0	0
障害者(人)	0	0	0	0
長期履修学生(人)	0	0	0	0
科目等履修生(人)	77	39	32	148

※社会人の定義（受験資格）：

次のいずれかに該当し、入学時（毎年度4月1日）現在21歳以上の者

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者、及び平成23年3月卒業見込の者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、及び平成23年3月修了見込の者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、及び平成23年3月31日までにこれに該当する見込の者

※科目等履修生について：

平成20年度から、科目等履修生人数には「高大連携協定」に基づく高等学校の生徒の受講者数を含む。

① 留学生

外国人留学生入試等は実施しておらず、現在のところ留学生の入学希望者はいないため特別な学習支援、生活支援は講じていない。

② 社会人

社会人特別入試を実施し社会人の受入を行っている。社会人入学者のうち、短大同等以上の学歴を有する者に対しては、オリエンテーションにおいて既修得科目の単位認定について説明を行い、既修得単位認定の申請があった者に対し、教務委員会及び教授会の議を経て単位認定を行っている。

③ 帰国子女

帰国学生入試等は実施しておらず、現在のところ帰国子女の入学希望者はいないため特別な学習支援、生活支援は講じていない。

④ 障がい者

現在は特別な支援を必要とする障がい者の入学者はいない。

⑤ 長期履修学生

長期履修学生の受入は行っていない。

⑥ 科目等履修生

科目等履修生の受入を実施している。科目等履修生に対する学習支援、生活支援は教務課及び学生課において科目等履修生個々の相談に応じている。また、自家用車による通学

を認めることにより科目等履修生の時間的制約への配慮を行っている。さらに、図書館、教室、食堂等の学内施設利用についても制限を定めていない。

【特記事項】

(1) この《V 学生支援》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば、学生の個人情報保護への取組み、成績不良者への支援、長期欠席者への援助、学生に対する表彰制度等、学生支援について努力していることがあるか。

① 個人情報保護への取組み

平成 17 年度に「学校法人陸学園個人情報の保護に関する規則」を制定し、学生個人の権利利益の保護に努めている。また、学生便覧において「個人情報の取り扱いについて」明示するとともに、個人情報の第三者提供について希望しない学生に対しては、申し出により提供を停止することを可能としている。

② 教育懇談会について

学生の保護者等に対し、本学の教育研究活動や取組みを知らせ、本学に対する認識と理解を深めていただく機会、そして学生生活状況等に関する保護者からの質問や相談に対応することで、家庭における学生の状況を把握するとともに、学生情報を双方で共有する手立てとすることを目的とした企画である「教育懇談会」を、年 1 回 2 日間にわたって学内で実施している。また、学生の保護者等に対し、学習状況及び成績状況を説明することにより、保護者等との連携を一層緊密にして学生生活支援を行っている。

③ CR（キャンパスリフォーム）委員会について

学生支援の一環として、学生と大学との意見交換により相互の理解を深め教育運営の向上を図るための「CR 委員会（キャンパス・リフォーム委員会）」を実施している。

学生は、学生生活における改善事項や提案等について、学長をはじめとする大学メンバーに直接申し出ることができ、その内容及び大学側の対応については、後日大学側から公式に学内掲示で公表している。

④ 抗体検査の実施について

学外実習予定の新入学生全員に麻疹（はしか）等の抗体検査を実施し、ワクチン接種が必要な学生のフォローを健康管理センターが担当し、実習時期に学生が学修に困らない体制を早期から実施している。

領域 I

領域 II

領域 III

領域 IV

領域 V

領域 VI

領域 VII

領域 VIII

領域 IX

領域 X